

イワトラノオ

Asplenium tenuicaule Hayata

チャセンシダ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地が稀で個体数が少ない。(現況:RO)

形態

根茎は短く斜上し、葉を叢生する。葉は2~3回羽状複生する。

国内分布

北海道、本州、四国、屋久島以北の九州。

県内分布

南加賀区。

生態など

岩上や岩壁に生育する着生植物で、繁殖は孢子による。孢子は初夏に熟し始め、風で散布する。

生育環境

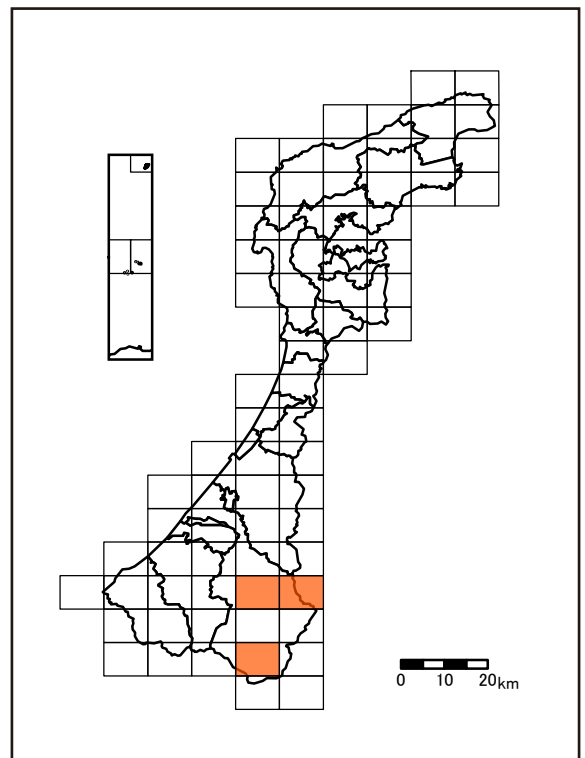
山地の陰湿な樹林下のコケの生えた岩上、岩壁に生育する。

危険要因

道路工事、自然遷移、産地局限。



林 二良・2005年7月6日・南加賀



県内の分布